

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	春名大輔	所属	道樹会札幌ことにメンタルクリニック
研究会等名称	臨床心理科学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 5名 (うち認定心理士 5名) 非会員 16名 (うち認定心理士 不明名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>高齢者臨床において、心理学に基づいた支援やその臨床研究をいかに推進するかを検討し、その結果として「高齢者臨床における心理職」というテーマの研修会を開催した。</p> <p>聴講参加者は15名で、高齢者医療を専門とする精神科医を1名講師として招聘した(非会員)。5時間におよぶ研修会を開催し、聴講者の反応についてアンケートを実施した。アンケートの形式は、Googleのフォームズを利用し、ウェブで回答できるものとした。聴講参加者のうち11名からアンケートを回収できた(回収率73.3%)。</p> <p>参加者の年齢内訳は、30歳代が5名(45.5%)と最も多く、次いで40歳代が3名(27.3%)だった。臨床経験年数は平均10.6年で、カテゴリ別では5年未満、5年以上10年未満、10年以上15年未満が各3名ずつ、15年以上が2名といったように、ほど良いバランスで参加者が集まったことがうかがえる。参加者の保持資格は臨床心理士、公認心理師が同数の9名で、うち8名が両資格保持者であり、1名が臨床心理士資格のみ、1名が公認心理師と産業カウンセラーの資格保持者だった。また無資格者(学生)が1名だった。</p> <p>研修内容について、まず研修全体の満足度を7段階で評価(1:極めて不満～7:非常に満足)してもらったところ、平均値が5.82で、過半数が6以上と満足度は高かった。研修を受けての意識の変化について、変化した部分があると回答した参加者は9名(81.8%)と非常に多く、変化した領域としては、「知識全般」(36.4%)や「高齢者臨床への関心」(22.7%)が多かった。また本研究会が主要なテーマとしている「臨床研究への関心」についても複数の参加者に変化をもたらすことができていた(13.6%)(図4)。</p> <p>今回の研修は、既に3年目を迎えたコロナ禍における初めての研修会であり、また第4回にして初めて参加費を徴収するという形式をとった。そういった点が重なったためか、参加者数は過去の研修会と比して下がったものの、参加者の満足度は高く、また参加者の意識変革にも寄与できたと考えられる。今後は、より「基礎と臨床のインターフェース」を伝えられる内容を意識し、それを実現し得る、Evidence Based Psychotherapy(例えば認知行動療法など)をテーマにした集会等を検討していく。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉			
臨床心理科学研究会 (第4回研修会)			
研究集会開催日: 2022年 9月 18日(日)			
	氏名	所属	会員 認定 心理士
1	浅野目 由希子	医療法人 啓生会病院	
2	石津 紗希子	大通公園メンタルクリニック	
3	伊藤 武人	林下病院	
4	内海 悠	医療法人 溪仁会札幌西円山病院	
5	角田 純	防衛省航空自衛隊	○ ○
6	簡野 寛己	札幌保護観察所	
7	工藤 綾乃	大通公園メンタルクリニック	
8	後藤 貴浩	明理会西仙台病院	○ ○
9	小山 眞由美		
10	佐藤(江場) 加奈子	北海道帯広児童相談所	
11	鈴木 憲治	札幌国際大学	
12	高橋 昌平	医療法人 啓生会病院	
13	武田 元治	児童発達支援放課後等デイサービスきずな	
14	中野 倫仁	北海道医療大学心理科学部	
15	根本 大輔	北海道医療大学	
16	春名 大輔	道樹会札幌ことにメンタルクリニック	○ ○
17	樋町 美華	東海学園大学心理学部	○ ○
18	藤澤 未瑠	北海道医療大学心理科学部	
19	松岡 みずほ	札幌光星ストレスケアクリニック	
20	宮村 真季	医療法人社団 五稜会病院	
21	山田威仁	慈藻会平松記念病院	○ ○
22			
23			
24			
25			

(様式5)

令和4年 11月 15日

日本心理学会研究会

令和4 年度会計報告書

研究会名称 臨床心理科学研究会

研究会番号 22008

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2022年9月18日	研修会会場費 (TKP札幌駅カンファレンスセンター)	¥71,566

支出合計 ¥71,566